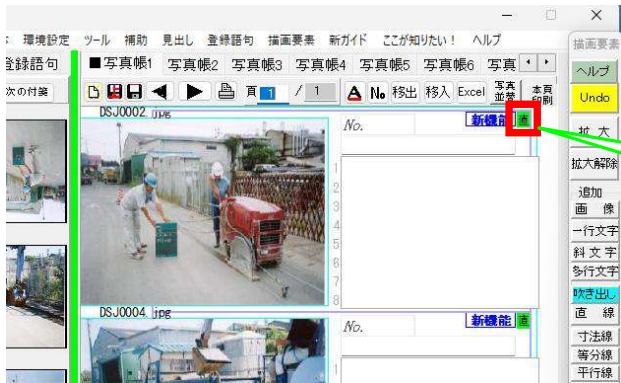
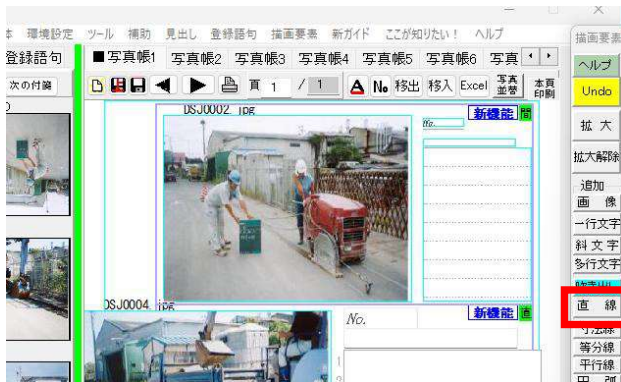


# 「かんたん工事写真帳3」の描画要素の一つである直線に関する操作説明

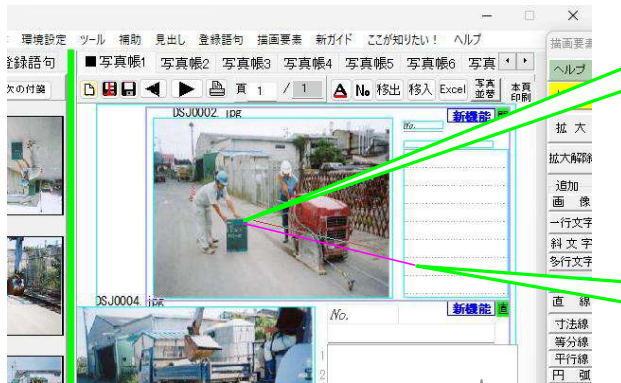


直線を追加したり、編集したりする操作要領を只今から説明します。

先ず、間接入力モードにするためここをクリックします。

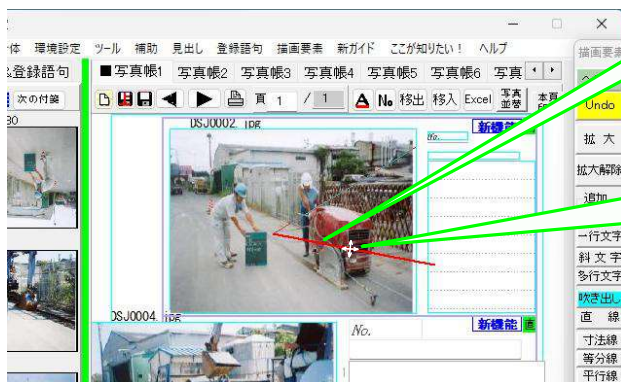


次に【直線】ボタンをクリックします。



次に、追加したい直線の始点の位置でクリックします。

一旦指を上げ、描きたい直線の終点の所にマウスを移動したらそこをクリックします。



すると、このように直線が追加されました。

次に、描いた直線の上にマウスを移動してみます。すると、このような両端に矢印がついた白い十字マークが表示されますので、そこで右クリックします。





<直線特性設定>画面が表示されました。  
この画面で直線の太さ、線種、色、矢印  
のあるなしなどを設定することができます。

また、このボタンをクリックすれば、今後  
追加される直線は、その画面で設定されて  
いる特性のものとなります。

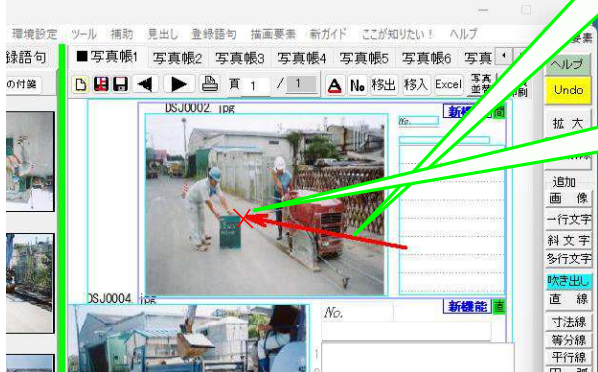
今は、線の太さを2mmに変更してみます。



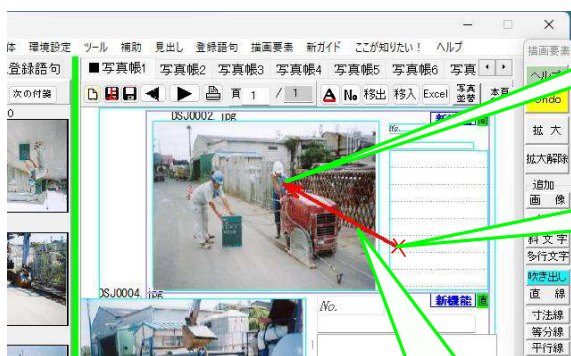
また、始点には矢印が付くよう変更してみます。

その上で  
【OK】ボタン  
をクリックします。

すると、直線の表示状態がこのように  
変わりました。



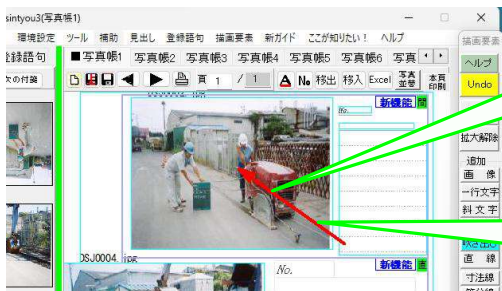
今度は直線の始点にマウスを移動してみます。  
すると、このようにマウスカーソルの形状が  
赤色のXに変わりましたので、この始点  
を右上方向にドラッグしてみます。



すると、始点の位置がこのように変わりました。

終点でもおなじような操作をすれば、終点の  
位置が変わります。

今度は、直線上にマウスを持って行った上で、直線を  
下方にドラッグしてみます。



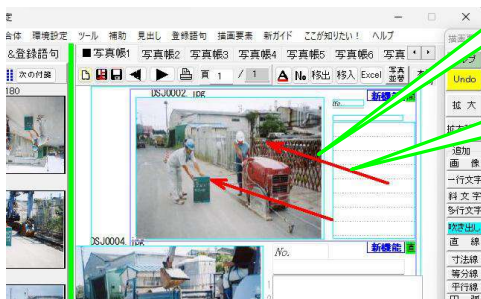
すると、このように直線全体が移動しました。

直線上にマウスを持って行った上で、再度右クリックします。



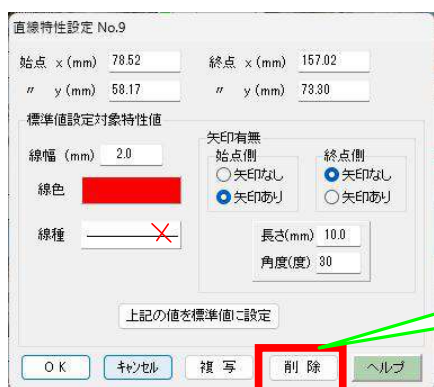
再び<直線特性設定>画面が表示されました。

今度は【複製】ボタンをクリックしてみます。



マウスを希望する位置に移動後に、そこをクリックすると、そこに複製された直線が追加されました。

この追加された直線の上で、再度右クリックしてみます。



再度表示された<直線特性設定>画面で今度は【削除】ボタンをクリックしてみます。

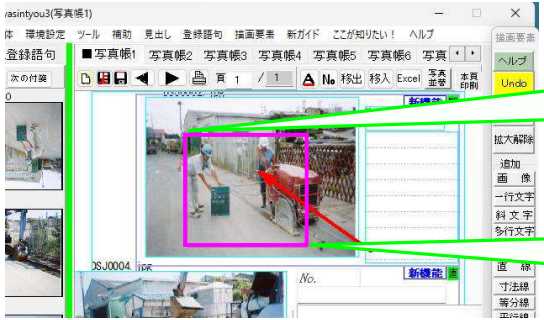




その操作によって、このように一本の直線が削除されました。



今度は直線の始点の位置をより正確に調整するために赤紫色した四角形領域を拡大表示させることにします。拡大表示するための操作手順は、先ず四角形領域の左上角で、マウスの左右のボタンを同時に押すことです。



次にすることは、左右のボタンをマウスに押し続けた状態で、マウスを四角形領域の右下角に移動した上で左右のボタンから指を離すことです。



上記の操作によって、四角形領域が拡大表示されました。拡大表示されている状態でも、諸描画要素の追加・編集は拡大表示されていない場合と同じ操作要領でできますので、先程行ったと同じ手順で直線の始点を移動させてみます。



このように、始点の移動が完了したら、下記の手順を踏んで、拡大表示を解消させます。

- ①どこでも良いので、マウスの左右のボタンを同時に押します。
- ②マウスの左右のボタンを押し続けた状態で少しマウスを左下に移動した後、マウスから指を離します。





上記拡大表示操作によって、直線の始点の位置が、拡大表示させていない場合に較べ、より正確に決められました。



なお、このボタンは、“斜移動禁止”と表示されている時に、クリックすると、“斜移動許可”に変わり、またクリックすると“斜移動禁止”に戻ります。

どの方向にも自由に直線を移動したい場合は、予めこのボタンを“斜移動許可”の表示状態にしてください。水平方向又は上下方向にだけ移動した場合は、予めこのボタンを“斜移動禁止”の表示状態にしてください。

また、操作の途中で、その操作を取り消したい場合は、キーボード左上の【 Esc】ボタンをクリックしてください。  
そうすれば、その操作は取り消されます。

**以上でこのコースの操作説明を終了します。**